

合成樹脂の混合の取扱いについて

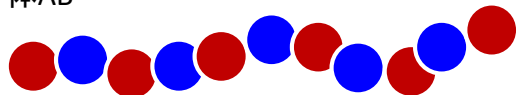
単一樹脂と混合樹脂

単一樹脂

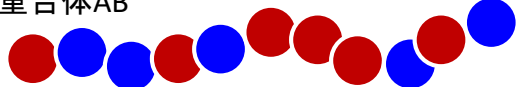
単独共重合体A



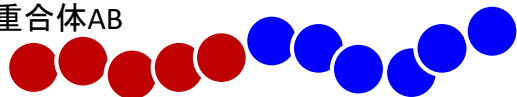
交互共重合体AB



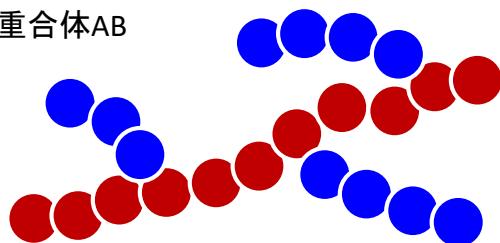
ランダム共重合体AB



ブロック共重合体AB



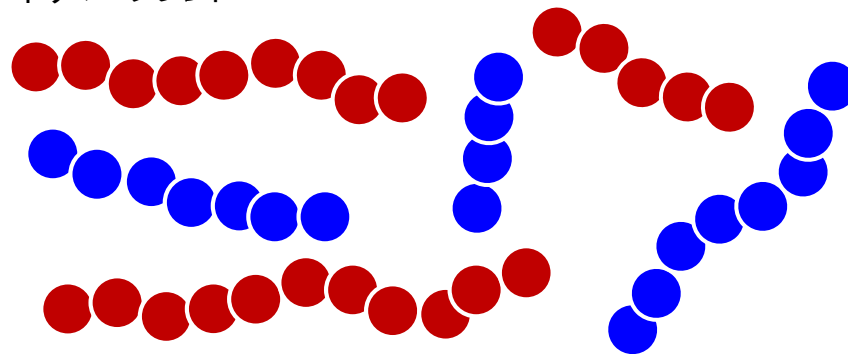
グラフト共重合体AB



基ポリマーとしてポジティブリストの収載が必要

混合樹脂

ポリマーブレンド



2種類以上のポリマーを混合(ポリマーブレンド)

混合樹脂としてのポジティブリスト収載は不要

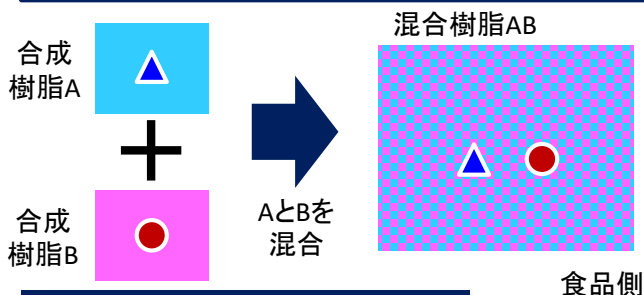
※ 混合する各ポリマーについてポジティブリストの収載が必要

※ 化学反応が起こる場合は、樹脂の混合として取り扱わない

合成樹脂の混合について(混合規則)

概要

- ポジティブリスト(PL)に適合している樹脂を複数混合した場合、混合樹脂はPL適合として取り扱う。
- ただし、混合前の各樹脂の制限(使用可能食品、使用可能温度、添加剤の添加量等)は混合樹脂にも引き継がれる。



管理方法

	基ポリマー	添加剤	添加剤
合成樹脂A	PL収載が必要 (食品接触層とみなす)	AまたはBのどちらかの区分においてPL収載が必要	AまたはBのどちらかの区分においてPL収載が必要
合成樹脂B	PL収載が必要 (食品接触層とみなす)		

添加量の上限値の考え方

合成樹脂Aは添加剤 x, z が使用可能
 " Bは " y, z が使用可能

→混合樹脂ABは添加剤 x, y, z すべて使用可能
 ただし、**最大添加量は混合する前の樹脂を基準**

合成樹脂A

合成樹脂B



	合成樹脂A	合成樹脂B
樹脂重量	2 kg	1 kg
最大添加量	添加剤 x (上限: 10 wt%)	0g (PL未収載)
	添加剤 y (PL未収載)	50g (上限: 5 wt%)
	添加剤 z (上限: 20 wt%)	100g (上限: 10 wt%)

AとBを混合

混合樹脂AB	備考
3 kg	
200g (上限: 6.7 wt%)	300g(3kgの10 wt%) ではない
50g (上限: 1.7 wt%)	150g(3kgの5 wt%) ではない
500g (上限: 17 wt%)	

※ 制限(使用可能食品等)は、混合前の各樹脂のいずれか厳しい条件を適用することが原則。